

令和6年度江戸川区教育課題実践推進校
研究課題「学力向上」

未来を主体的に生き抜くために
～自ら進んでよく学ぶ生徒の育成を目指して～



江戸川区立春江中学校

第1分科会の取組

家庭学習習慣の確立を目指して

時間の使い方の見える化のために

- ・フォーサイトForesight手帳の導入
- ・時間の使い方円グラフの作成
- ・家庭学習啓発通信の発行



10・11

October November



28 Monday

やること・もちもの

- 1 理A まとめプリント
- 2 期末テスト勉強
- 3 三者面談

ふりかえり
今週の自分の点数 96 / 100点

★ほめポイント

苦手を単元や、暗記が特に多い教科を重点的に勉強することや、テストまで少し前から勉強を始めていたこと、モチベーションを上げていたこと、など、たくさんあります。

★さらにポイント

ただ問題で解くのではなく、自分の言葉でまとめてみる勉強を、やると、もっと良くなると思います。

★来週にむけて

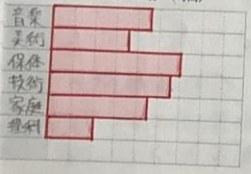
来週は4教科の期末テストがある予定です。必ず必ず勉強して、1点でも多く点を取れるようにしたいです。

メモ

<理Bの提出物>
最終まとめ問題集 P2 ~ P13 (地理)
P42 ~ P49 (歴史)

勉強時間のきろく
目標 35 時間 結果 38 時間

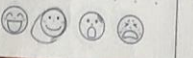
今週の時間集計
(1マス=15分・30分・1時間)



今週の名言
結果にはすべて原因がある。
(ガリレオ・ガリレイ)

- 6 起床
- 7 準備
- 8 登校
- 1 学 筆記用具
- 2 体 体育着、iPad
- 3 英 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 4 数 教科書、問題集、1-ト、ファイル、iPad
- 5 国 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 6 平B 歴史教科書、iPad
- 7
- 16 技 アロプログラムII
- 17 美 幼児の体の発達
- 18 理 まとめプリント
- 19 夕ごはん
- 20 音 合唱曲、アイ-ダ
- 21 理 まとめプリント
- 22 就寝
- 23
- 24 5時間

4教科の提出物を全て終わらせることができたので、テスト本番に向けて、自信を持って臨みたいと思います。



29 Tuesday

やること・もちもの

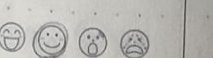
- 期末テスト1週間前
- 三者面談(始) ~
- 美術・体育の勉強

6 起床

- 7 準備
- 8 登校

- 1 数 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 2 家 教科書、1-ト、iPad
- 3 英 教科書、1-ト、7-7、ファイル、iPad
- 4 理A 問題集、iPad
- 5 国 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 6 技 アロプログラムの制作について
- 7
- 16 美 画像の宿題
- 17 体 水泳、ソフトボール
- 18
- 19 夕ごはん
- 20 技 アロプログラムII
- 21
- 22 就寝
- 23
- 24 5時間

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



30 Wednesday

やること・もちもの

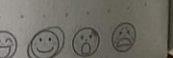
- 三者面談
- 音楽・保健の勉強

6 起床

- 7 準備
- 8 登校

- 1 理A 問題集、iPad
- 2 数 教科書、問題集、1-ト、ファイル、iPad
- 3 英 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 4 道 教科書、1-ト、iPad
- 5
- 6 技 アロプログラムの制作について
- 7
- 16 美 幼児の体の発達
- 17 保 室内の空気の管理
- 18 的 管理 授業準備
- 19 夕ごはん
- 20 音 音楽の読み方
- 21 交 音楽の読み方
- 22 就寝
- 23
- 24 6時間

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



31 Thursday

やること・もちもの

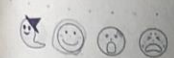
- 美術・家庭の勉強
- 期末まとめプリント提出
- 音楽・保健の勉強

6 起床

- 7 準備
- 8 登校

- 1 理A 問題集、iPad
- 2 英 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 3 数 教科書、問題集、1-ト、ファイル、iPad
- 4 音 教科書、Mrsong、ファイル、iPad
- 5 体
- 6
- 7
- 16 技
- 17 音
- 18 美
- 19 夕ごはん
- 20 音
- 21 交
- 22 就寝
- 23
- 24 5時間

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



11/1 Friday

やること・もちもの

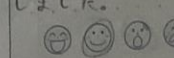
- 美術・家庭の勉強
- 音楽・保健の勉強

6 起床

- 7 準備
- 8 登校

- 1 理A 教科書、1-ト
- 2 英 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 3 数 教科書、問題集、1-ト、ファイル、iPad
- 4 音 教科書、Mrsong、ファイル、iPad
- 5 体
- 6
- 7
- 16 技
- 17 音
- 18 美
- 19 夕ごはん
- 20 音
- 21 交
- 22 就寝
- 23
- 24 5時間

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



2 Saturday

やること・もちもの

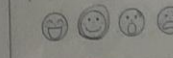
- 美術・家庭・音楽の勉強

6 起床

- 7 準備
- 8 登校

- 1 理A 教科書、1-ト
- 2 英 教科書、1-ト、ファイル、iPad
- 3 数 教科書、問題集、1-ト、ファイル、iPad
- 4 音 教科書、Mrsong、ファイル、iPad
- 5 体
- 6
- 7
- 16 技
- 17 音
- 18 美
- 19 夕ごはん
- 20 音
- 21 交
- 22 就寝
- 23
- 24 5時間

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



3 Sunday 文化の日

やること・もちもの

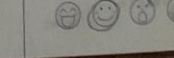
- 美術・保健の勉強

6 起床

- 7 起床
- 8 朝食・身いたく
- 9 画像の種類、既習事項復習

- 10 合唱曲について
- 11 楽譜の読み方
- 12 浴
- 13 読書
- 14 夕ごはん
- 15 就寝

今日は美術の画像の種別や家庭の幼児の体の発達を話し、4教科のテストまで残り1週間と、少し余裕があるように感じています。



手帳コンテスト
最優秀賞
3年生の感想

私がForesight手帳で効率よく勉強するために心がけていることは、なるべく細かく書いて「見える化」することです。テスト期間ほどの教科の勉強をするか予め記入し、勉強した単元も詳しく記録することで整理しています。

第1分科会の成果

家庭学習習慣の確立を目指して

- ▶ 以前に比べて学習時間が延びた → 50%以上
- ▶ 学校以外での学習時間 → 増加傾向

第2分科会の取組

「教員の授業力向上」指導と評価の一体化

- ▶ 生徒が主体的に学ぶようになるために
 - ・学習のねらいや評価項目の掲示
 - ・ルーブリック評価の作成と配布
 - ・生徒自身による自己評価と相互評価

第2分科会の成果

「教員の授業力向上」指導と評価の一体化

- ▶ 学習に向かう姿勢が向上
- ▶ 評価の透明性が向上
- ▶ ルーブリック評価の有効性

第3分科会の取組

「基礎学力の保障」～ICTを活用した授業展開～

- ▶ ICTの利活用の実践・授業相互参観
ミライシード・Teams
- ▶ 学校全体での共有

第3分科会の成果

「基礎学力の保障」～ICTを活用した授業展開～

- ▶ 自分から学ぼうという興味・関心をもてた → 80%
- ▶ 授業がわかりやすいと感じる生徒 → 増加傾向
- ▶ 学習の進捗を可視化
- ▶ 教員間の共有

自ら進んでよく学ぶように生徒を変容させるため取り組んだ教員の実践例①

| | 教員の取組 | 取組の成果 | 課題 |
|----|---|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ①ICTやルーブリックを活用し、レベルに応じた課題や資料を用意した。総括的評価だけではなく形成的な評価を返し、自ら学ぼうとする姿勢を育む。 ②ミライシード・ドリルパークの文法テストや小テストを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①評価と基準がわかりやすく成果や成長など何を学んでいるか実感でき、ワークシートや振り返りカードが定期考査に役立ったと答える生徒が多かった。 ②家庭学習で事前に取り組んでいれば、同じ問題が出題されるので満点が取れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①評価機会が増え、毎回C層になる生徒の学習への意欲が損なわれる側面がある。教員の負担が増加するので、評価材料とタイミングなど吟味する必要がある。 ②同じ問題で小テストを繰り返すことになるため、基礎基本の学習のみになる。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ①OneNoteによる単元まとめ、Formsを使ったテストなどICT利活用する。 ②生徒が授業内で発言する場面を多く増やし、「できた・わかった」といえる単元プリントや授業用ノートのルーブリック評価を提示する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①プリントへの記入が増えた。 ②主体的に取り組む生徒が増え、ノートの書き方が向上し、自主課題に取り組む生徒が増えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ①OneNoteに不慣れな生徒があきらめてしまったり、Formsのテストだと用語が変換できるが、紙のテストだと書けなかったりする生徒がいた。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> ①授業の工夫として机間指導ですぐに答えやヒントを言わず、考えさせる時間を大事にした。 | <ul style="list-style-type: none"> ①正解まで「惜しい」「あとちょっと」の生徒はよく考えながら正解までたどり着いた。意欲のある生徒は自分の成長が実感でき自学できるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ①やらない生徒はやらなったり、すぐに考えることを止め、手が止まったりする生徒がいるので1:1でコーチングする時間を確保する必要がある。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ①OneNoteやオクリンクなどのICTを活用した。 ②本時の目標を定め、授業の流れを見直し、ルーブリック評価の提示をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ①iPadをスムーズに活用できる生徒が増え、進度の早い生徒は余った時間を有効活用できていた。 | <ul style="list-style-type: none"> ①授業に関係ないアプリなどの使用を制限する必要がある。タイピングに難がある生徒の支援やサポートをする。 |
| 英語 | <ul style="list-style-type: none"> ①Kahootを使ったクイズ学習、AI採点による音読練習などICTを利活用する。 ②ルーブリック評価を提示する。 ③ALTとの会話機会を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①クイズ学習に取り組む生徒の意欲が向上した。AIによる客観的な数値による採点を行えた。 ②課題内容の充実や得点力が向上した。 ③恐れずにALTとコミュニケーションをとることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ①クイズの結果にのみ意識が向かったり、録音がうまくできなったりする生徒がいた。授業とは関係ないサイトを視聴する生徒がいた。 |

自ら進んでよく学ぶように生徒を変容させるため取り組んだ教員の実践例②

| | 教員の取組 | 取組の成果 | 課題 |
|------|---|---|---|
| 音楽 | ①GarageBandとiMovieを活用してサウンドロゴと映像を制作する。 | ①タブレットの使用で楽器の演奏や音を出すことが容易になり、音の記録も同時に行えるので、個々の発想力を活かした創作活動ができる。 | ①動画編集などが得意な生徒と、GarageBandやiMovieを初めて使用する生徒との進度の差が出やすい。 |
| 美術 | ①Foresight手帳の表紙をデザインする。 ②作品の制作記録、撮影、鑑賞でのミライシート活用などを行う。 | ①手帳への愛着と活用意欲が向上した。 ②作品制作記録の振り返りや評価に活用できた。 | ②鑑賞でチャット感覚のコメントになる。作品づくりをネットで見付けた作品を模倣しがちであった。 |
| 保健体育 | ①授業はじめて「めあて」を掲示(提示)する。 ②毎単元ルーブリック表を示す。 ③練習方法を個人やチームで課題に合わせ選択させ取り組ませる。 | ①②学習意欲が向上した。 ③PDCAサイクルを生徒自身が感じながら取り組んでいる。 | ②ルーブリックの基準や配点が生徒の実態にマッチしていないときに改めて示すことができなかった。 |
| 技術 | ①必要な情報はオクリンクにアップし、説明を極力減らして活動量を増やすことで、教える授業から考える授業への転換を図る。 | ①必要な情報を取得する能力が向上した。そして生徒自身が頑張らないとできないという姿勢の変換ができた。 | ①自学する力が弱いCD層のへのより効果的なアプローチをどうしていくかが課題である。また説明をどこまですればよいかの整合や工夫が必要である。 |
| 家庭 | ①製作途中の写真を撮影したパワーポイントを作成し、生徒はTeamsを見ながら自分の進度に合わせた作業を行う。 | ①自分で作業を進められる生徒が増えた。実習時間の短縮にもつながる。 | ①調理実習ではiPadを使用するため、食材に触れる前の手洗いなどを徹底させなければならない。 |

研究の成果と課題

【成果】

- 生徒からの肯定的な意見
- 教職員の実感(生徒の成長)
- 教員としてのレベルアップを実感

【課題】

- ▲学力差が広がった
- ▲CD層への支援
- ▲教員の負担増



ご清聴ありがとうございました